

## 〔 競 技 注 意 事 項 〕

1 本大会は2021年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会競技要項によって行う。スタートは英語で行う。スタートは国内ルールを適用する。本大会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を考へての競技会のため、通常とは運営方法が異なるので、「大会参加における遵守事項」も含めて、しっかりと確認すること。

4月14日付の日本陸連発出の文書「陸連21発5-2号」に基づき、本大会は、フィールド競技用シューズのTR5.5を適用せず実施する。記録は国内の公認として認められる。

フィールド種目についてはWAへの申請は行わず、国際大会への参加資格とはならない。

2 アスリートビブスについて

- (1) 競技者は必ずアスリートビブス（規定のもの）を胸・背部に確実につける。ただし走高跳、棒高跳は胸・背いずれか一方でよい。走幅跳・三段跳は胸につけるだけでもよい。
- (2) 800m以上の距離種目については腰ナンバー標識を使用する。使用した腰ナンバー標識はレース終了後直ちに東器具庫前の係に返却すること。

3 招集について

・招集の際、「体調管理チェックシート」を提出する。ただし、当日に複数種目に出場する選手は「体調管理チェックシート」の提出をその日の最終種目の招集時とするので、それより前の種目の招集時は「体調管理チェックシート」を競技役員に提示し、チェックを受けたのち返却してもらう（その後の種目の招集時に再度必要なため）。

(1) トラック競技

- ・招集場所を西側倉庫（100mスタート地点後方）に設置する。
- ・競技時間表記載の招集時間に合わせて招集を受ける。招集場所での密を避けるため、時間前から待機することを禁止する。
- ・リレーについては4人揃って招集を受ける。リレーオーダー用紙は招集時に提出する。
- ・招集時には密を避け、前後の間隔を確保して整列する。また、マスクを必ず着用する。
- ・招集完了後は、スタート地点集合時間に合わせてスタート地点に集合し、最終コールを受ける（スタート地点での密を避けるため、時間前から待機することを禁止する）。

(2) フィールド競技

- ・招集は競技場所で行う。
- ・競技時間表記載の招集時間に合わせて競技場所に集合し招集を受ける（招集後はそのまま公式練習・競技へと進行するため、競技に必要な用具はすべて持参する）。
- ・密を避けるため、招集時間より前に競技場所に集まらない。

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなして処理する。

4 競技場への入退場について

- ・競技場所へは手洗いを実施してから集合する。
- ・競技終了後は、直ちに手洗い場（スタンド西側通用口付近）に移動し、手洗いおよび洗顔を実施する。

(1) トラック競技

- ① 最終コールはスタート地点集合時間以降に実施する。最終コールを受けていない選手は競技に参加できない。
- ② スタート練習は、スタート地点集合以降、役員の指示に従って行うこと。

(2) フィールド競技

- ① 招集開始以降すみやかに競技場所に移動し、競技終了まで競技役員の指示に従って競技場内で練習を行うこと。競技場以外での投てき練習は一切禁止とする。
- ② 特に、投てき競技については危険をとまなうので勝手な行動はつつしむこと。競技前、競技中の練習で使用できる器具はタオル等、人に危害を加えないものに限る。やりの突き刺し練習、砲丸の打ち付け練習は禁止する。
- ③ 退場は、跳躍および投てき競技役員の指示・誘導により行う。

5 走路順・試技順について

- (1) トラック競技の走路とフィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号順とする。
- (2) 欠場者のレーンは空ける。ただし 800m は出発系の指示による。

6 競技について

- (1) トラック競技は、競技場滞在時間短縮のためすべてタイムレース決勝で行う。1/100 秒単位で同タイムの場合は、1/1000 秒単位で判断する。
- (2) 同一選手がトラック競技とフィールド競技を同時刻に兼ねて行う場合は、トラック競技を優先とし、フィールド競技は同一ラウンドにおいて競技役員の許可を得て順序を変更することができる。
- (3) セパレートレーン使用の競技では、フィニッシュした後も他の競技者との接触を避けるために、自分に割り当てられたレーン〈曲走路〉を走るものとする。
- (4) スパイクピンの長さは 8 mm 以下とする。ただし走高跳・やり投は 12 mm 以下とする。
- (5) 競技運営・進行上、男女 5000m、男子 10000m、男女 5000mW について、スタート後以下の時間で競技を打ち切る。制限時間は号砲で知らせる。号砲が鳴った時点で競技を続けている選手はコース外に出ること。

男子 5 0 0 0 m	2 0 分	女子 5 0 0 0 m	2 5 分
男子 1 0 0 0 0 m	4 0 分		
男子 5 0 0 0 mW	4 0 分	女子 5 0 0 0 mW	4 0 分

- (6) フィールド競技における競技開始前の練習は、競技役員の指示によって行う。
- (7) 三段跳の踏切板は男子 10m、女子 7m・9mで行う。ただし審判長の判断で変更することもある。
- (8) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方については下記のとおりとする。(変更もあり得る)

男子走高跳 (練 1.55 1.80) 1.60 1.65 1.70 1.75 1.80 1.85 以後 3cm 刻み  
 男子棒高跳 (練 2.40 3.20 3.80) 2.60 2.80 3.00 3.20 3.40 3.60 以後 10cm 刻み  
 女子走高跳 (練 1.25 1.45) 1.30 1.35 1.40 1.45 1.50 以後 3cm 刻み  
 女子棒高跳 (練 2.00) 2.20 2.40 2.60 2.80 以後 10cm 刻み

7 競技器具について

競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし「棒高跳用ポール、やり」については個人所有のものを使用を認める。「やり」は公式検定を競技開始 1 時間 15 分前から 1 時間前に本部にて検定を受けること。

8 上訴について

上訴にあたっては、記録発表用 twitter 上に発表された時間を基準とし 30 分以内に本部(総務員)に口頭で申し出る。

9 プログラム記載のミスについて

氏名等がプログラム印刷と異なる場合は、早めに本部の庶務担当に申し出て訂正してもらうこと。

10 競技中の事故について

競技中に生じた事故については、応急処置はするが以後の責任は負わない。

11 表彰について

各種目の優勝者には賞状・選手権賞章並びに中日新聞社賞、2位・3位には賞状を授与するので、本部（表彰係）から受け取って帰宅する（表彰式は行わない）。

12 陸上競技場の使用について

- (1) 本大会は無観客で実施する。フェンス外からの観戦についても禁止する。
- (2) 清掃・ゴミ処理は、各団体・学校・各自で責任をもって行い環境美化に努める。  
他人に迷惑にならないよう互いに気を配り、各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。
- (3) 各団体の控え場所は、芝生スタンドのみ使用可とする。

13 ウォーミングアップについて

- (1) 競技開始前のウォーミングアップは競技開始15分前までとする。  
競技開始前のウォーミングアップは長距離が1・2レーン、ハードルは外側7・8・9レーンを使用する。  
ハードルを使った走練習はトラック以外では禁止する。  
ウォーミングアップ時のジョギングに関してはトラックの内側で競技会準備の支障にならないように行うこととする。集団でのジョギングは禁止する。  
ホームストレートと第4コーナー出口付近では接触の危険性が非常に高いので、係の指示に従うこと。
- (2) 競技中のトラック使用のウォーミングアップは下記の条件付きで認める。
  - ① 場 所：第1曲走路の中間地点から200mのスタート地点手前。完全に停止すること。
  - ② レーン：6、7、8レーン
  - ③ 可能な種目時間帯：100m、100mH、110mH、1500m、5000m、10000m、5000mW（ただし7.8レーンのみ）
  - ④ 種目間、組間の空白時間帯で準備に支障をきたさない時。
  - ⑤ 400mHは、100mの時間帯にバックストレートで行う。
- (3) 投てき種目については、競技場に入場後競技役員の指示によって行うこと。他施設（空き地等）での投てき物を用いた練習は一切禁止する。競技前、競技中の練習で使用できる器具はタオル等、人に危害を加えないものに限る。やりの突き刺し練習、砲丸の打ち付け練習は禁止する。

14 監督・コーチ・顧問は競技中にカメラ・ビデオの映像を競技に支障がないようにスタンドから見せることができる。ただし競技場に持ち込むことはできない。もし競技に支障をきたした場合は直ちに禁止とする。

※撮影する場合は、本部で許可を取り、許可証を携行すること。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

監督・コーチ・顧問以外の写真またはビデオ撮影について

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影を許可するエリアは、スタンドのみとします。禁止された区域では撮影はできません。その他にも、以下の場合の撮影を禁止します。

・選手がスターティングブロックの足あわせをしたり、試技を待っていたりしている間や、身体を動かしたりしているなどの準備を行っているとき。

※また他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。

## 15 感染防止のための全般的な注意事項

(1) 大会1週間前から体調管理チェック表を記入し、競技場入場時に各個人で提示する。

※以下の項目に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

- ・体調がよくない（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

※提出する前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。

(2) 運動中以外はマスクを着用し、手洗い・洗顔を徹底する。

(3) 3密（密閉・密集・密接）回避行動を心掛ける。

(4) ウォーミングアップは個別に行う。

(5) 競技終了後および競技用具使用後は手洗い・洗顔・手指の消毒をする。

(6) 更衣室の滞在は短時間にし、シャワールームは使用を禁止する。

(7) 運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。

(8) ゴミは各自で持ち帰る。

(9) フィールド競技の滑り止め（炭酸マグネシウム）はできるだけ各自で持参する。

(10) 競技者同士の会話は極力避け、招集中・移動中・待機中はマスクを着用する。マスク着用による熱中症に気をつける。

(11) 声を出しての応援、集団での応援を行わない。

(12) 競技者は自分の競技時間に合わせて来場し、自分の競技が終わったら速やかに帰宅する（競技場滞在時間をできるだけ短くする）。

(13) 競技者以外の応援者・観客の競技場内（スタンドを含む）への立ち入りを禁止する。

(14) ホームストレート前スタンドは競技役員控え場所として使用するので、各団体での使用を禁止する。各団体は芝生スタンドを使用し、密を避ける工夫をする。

(15) 参加者は、大会終了後2週間は健康チェックをする（体調管理チェック表【大会後／個人管理用】を活用する）。症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告する（症状には個人差があるため、強い症状と思う場合はすぐに報告する）。また、保健所、医師会、診療所等に相談後、必ず大会主催者に報告する。

(16) 大会主催者は、競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

## 16 その他

・記録の発表は上位競技者のみ放送にて行う。記録の掲示は行わないが、尾張陸上競技協会の本大会記録発表用 twitter に期間限定で掲載する。アカウントについては当日受付にて通知する。なお、後日リザルトをHPに掲載する。

・競技場入場後のトイレはスタンド下トイレのみ使用可とする。

・発熱者が発生したときは、迎えが来るまで競技者控室にて待機させる。

・競技役員は、控え場所としてメインスタンドを使用する。

・厚生労働省が提供する新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の使用を推奨する（ただし、通信端末は競技エリアに持ち込むことはできない）。

・その他、競技役員の指示があった場合はその指示に従う。